

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	これからの時代に必要となる様々な資質や能力の育成を目指し、「SSH」「理数教育推進校」「学力向上進学重点校」としての役割を踏まえながら、カリキュラム・マネジメントに取り組む。	<p>①SSHとしての特色ある教育課程の検討を重ねるとともに、生徒の自己実現に向けた履修指導を行う。</p> <p>②主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた授業実践を充実させる。</p> <p>③新学習指導要領に基づく教育課程について、適切な運用方法を検討し、確実に実施する。</p>	<p>①SSHとしての本校独自の教育課程の検討及び生徒の進路実現のための講座編成や時間割を作成する。</p> <p>②校内及び公開研究授業等を通じ、生徒の主体的かつ論理的思考力の育成を目指した授業を実践する。</p> <p>③探究活動を中核としたサイエンスプログラムを実践し、科学的探究力、協働力、創造力を育成する。</p> <p>③生徒の履修希望科目に沿った講座を編成し、時間割を作成する。</p>	<p>①SSHとしてふさわしい教育課程となっているか。</p> <p>②「生徒による授業評価」において、課題解決に関する評価項目(3と6)の回答のうち、50%以上が「(項目4)かなり当てはまる」であったか。</p> <p>②生徒が主体的に探究活動に取り組み、成果を表現できたか。</p> <p>③生徒の履修希望科目に沿った講座を編成し、時間割を作成できたか。</p>					
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>①学校行事、部活動、委員会活動を更に充実させ、その活動を通じて、人間形成を図り、全人教育を実践する。</p> <p>②生徒一人ひとりの個を尊重した支援体制をさらに充実させる。</p>	<p>①学校行事、部活動、委員会活動を通して、課題解決能力やコミュニケーション能力の育成を図る。</p> <p>②教育相談全体支援会議と職員が協力して支援に必要な生徒の対応にあたる。</p> <p>②SC,SSWとの連携を密にし、支援体制をさらに充実させる。</p>	<p>①学校行事や部活動等で生徒が課題を見つけ、話し合い等を通じてこれを解決する力を育成する。</p> <p>②教育相談全体支援会議で支援を必要とする生徒の情報を集約し関係職員と共有しながらより適切な支援を行う。</p> <p>②SC,SSWとの情報共有を密にして、迅速な対応を行う。</p>	<p>①行事や部活動等で生徒が課題を見つけ、話し合い等を通じて、新たな工夫を加えながらその解決を目指すことができたか。</p> <p>②職員が本校の支援体制を理解し、支援が必要な生徒の情報を共有し適切な支援を行うことができたか。</p> <p>② SC,SSWとの報告・連絡・相談を円滑に行い、計画的かつ迅速に課題解決に向けて取り組むことができたか。</p>					

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3 進路指導・支援	生徒の第一希望の進路を実現できるよう、目的意識の強化と学習意欲のさらなる向上を目指し、各種模擬試験等の分析を活用し、自立的なキャリア形成を支援する。	①生徒の学習取組状況や進路希望情報を共有し、進路実現に向けた組織的な支援体制を整える。 ②卒業生や社会人の講話等のキャリア行事で生徒のキャリア形成を支援するとともに、補習・講習及び実力試験等の学習支援を通して難関大学への進学意識を高める。	①生徒の学習への取組状況や進路希望情報を教職員で共有し、面談や進路説明会等で保護者とも共有することできめ細かな進路支援を行う。 ②卒業生や社会人の講話等のキャリア行事を通して、将来への目標意識を高める。 ③補習・講習及び実力試験等の学習支援を通して実力を伸ばし、難関大学への進学意識を高める。	①生徒の学習取組状況や進路希望情報を理解したうえで生徒及び保護者に必要な支援を行うことができたか。 ②生徒がキャリア行事の目的を理解して自身の目標設定に向けて取組むように指導できたか。 ③実力試験等の結果分析を活用することで生徒の実力をさらに伸ばし、難関大学への進学意識を高める支援が行えたか。					
4 地域等との協働	地域との協働を推進し、地域から信頼される学校づくりを進める。	①生徒一人ひとりの幅広い学力の育成のため地域等の教育力を活用する。 ②地域に開かれ、地域と共にある学校を目指し、学校の教育活動の情報提供や学校運営協議会の促進等を行う。	①地域や行政(市防災安全課)等と連携し防災訓練・研修会等を実施する。 ①地域貢献活動等を計画し、生徒の積極的な参加を促す。 ②学校説明会・学校カミングデー・県西地区合同説明会等を開催、参加して地域から信頼される学校づくりを推進する。 ③ホームページを充実させ、日々の教育活動の情報をより積極的に発信する。	①防災避難訓練実施で生徒及び職員が連携して適切に身を守る防災活動を実施したか。 ①地域貢献活動(年3回)を実施したか。 ②学校説明会・学校カミングデーの開催及び県西地区合同説明会等に参加して目的を達成できたか。 ③地域に開かれ地域と共にある学校を目指して学校の教育活動の情報提供や学校運営協議会の促進等を行えたか。					
5 学校管理 学校運営	①地域や外部機関との連携を進め、教職員の専門性の向上を図り、SSH事業をさらに充実させる。 ②風通しの良い、働き甲斐のある職場づくりを進め、事故・不祥事防止を徹底する。	①SSH事業のさらなる推進に向けて、校内外の人的・物的資源を最大限に活用するとともに、先進校訪問や研修等を通して教職員の専門性を向上させる。 ②不祥事を「自分事」と捉えるよう教職員一人ひとりの意識改革に取り組むとともに、校内マニュアルの活用を徹底させる。	①学校運営協議会の活用及び地域や外部関係機関等との連携を通して教職員の専門性を高める。 ②教職員間のコミュニケーションの活性化、同僚性の向上、事故・不祥事ゼロに向けて、研修会を実施する。 ③校内マニュアルを活用した組織的な業務遂行を徹底する。	①学校運営協議会等、校内外の人的・物的資源を十分に活用したか。 ①教職員の専門性の向上がSSH事業の推進に活かされたか。 ②教職員一人ひとりの不祥事防止への意識が改善されたか。 ③業務遂行において、校内マニュアルの活用が徹底されたか。					